

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	音楽	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるにする。
- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	①歌声をつくろう 「校歌」「全校合唱」 ②音楽の基礎を学ぶⅠ 「音符を覚えよう」 ③曲の雰囲気を感じ取ろう 「春」(第1楽章) ④合唱の喜びⅡ 学年合唱 ⑤合唱コンクールに向けて、各クラスで 選曲した自由曲	・新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。 ・音楽に親しむためには、必ずリズムがある。そこで、音楽の基礎音符を学習することで更に音楽に対する興味、関心が生まれる。 ・ソネットをもとに、曲の雰囲気を感じ取り、鑑賞する能力を育てる。 ・旋律と和音の関わりを感じ取り、表現を工夫させる。 ・混声三部合唱曲の取り組みを通し、しっかりした音程感や豊かな発声を身に付ける。 ・学級がひとつになり、美しい合唱をつくろうとする雰囲気を作る。
2 学期	①思いを込めて明るい声で合唱しよう。 【合唱】 「(合唱コンクール自由曲)」 ②曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。【鑑賞】 「魔王」 ③情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。【斉唱】 「赤とんぼ」	・ユニゾン部分の表現の仕方を統一することで、一体感が感じられることを意識する。 ・フレーズを意識し、曲の盛り上がりを含めた構成を考える。 ・声の重なり合う美しさを感じ取り、合唱する喜びを味わう。 ・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさを味わう。 ・語り手、父、子、魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目する。 ・旋律の動きや強弱の変化がどのように曲想と関わっているかを感じ取り、表現を工夫する。 ・言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌う。
3 学期	①映画音楽を感じ取る 「ジョーズ」 ②アンサンブルを楽しもう 「打楽器のための小品」 ③卒業式に向けて 「全校、全校合唱」	・映画の中における音楽の役割や効果を感じ取る。 ・リズム、速度、強弱の組み合わせから音楽のストーリーを感じ取る。 ・リズムの理論を確認すると共にパートの役割を理解し、アンサンブルの楽しさを感じ取れる。 ・「卒業式」に向け式歌に慣れると共に、しっかりとした歌声をつくり上げようとする心情を育てる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	美しい音色・正しい音程・豊かな表情で表現力豊かに表現活動をしている。	・実技試験
思考・判断・表現	音楽理論や音楽の歴史的・文化的背景、作曲者の思いや工夫されている点などを正しく理解している。 音楽の諸要素を感じ取り、楽曲の特徴に気付いてまとめられる。	・定期試験
主体的に学習に取り組む態度	時間を守り、忘れ物をせず、音楽活動に意欲的に取り組んでいる。 前向きに演奏したり、鑑賞したりしている。 音楽理論や作曲者の思い、工夫されている点を理解した上で表現を工夫している。	・実技試験 ・定期試験 ・学習プリント ・授業の様子

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 音楽科の学習について
「音」に関心を持ちましょう。美しい歌声・素敵なハーモニー・迫力のある楽器の音色など積極的に探して、感じて、表現しましょう。
2. 授業のきまり
 - ① 2分前着席をしましょう。
 - ② 持ち物を確認しましょう。授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。
 - ③ 人が発表している時や話しているときは、きちんと聞きましょう。
3. 授業で使う道具
・1年の教科書 ・器楽の教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・ジョイフルソング(新学社)
4. 授業中の少人数学習
合唱パートごとのグループ、班ごと……………など内容により形態を変え、グループで話し合ったり教え合ったりという学習を行います。
5. 家庭学習
基本的にありません。長期休み(夏休み・冬休み・春休み)に、歌唱に関する課題を出すことがあります。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	音楽	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

<p>■曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。</p> <p>■曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>■主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p>①情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。【斉唱】 「夏の思い出」</p> <p>②曲の特徴を聴き取ろう。【鑑賞】 「(自由曲候補曲)」</p> <p>③思いを込めて明るい声で合唱しよう。【合唱】 「(合唱コンクール自由曲)」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的内容(姿勢・口形・呼吸法・発声法)を意識し、歌唱に生かす。 ・フレーズを意識して、曲の山を工夫する。 ・歌詞と強弱の関連を考えて、表現を工夫する。 ・曲想、構成、音色などの音楽的特徴を聴き取る。 ・音楽的特徴を簡潔な文章で表現する。 ・パートリーダーや音とりを中心とした、協力的な練習の流れを確認する。 ・自分の担当パートの旋律を歌えるようにする。
2 学 期	<p>①思いを込めて明るい声で合唱しよう。【合唱】 「(合唱コンクール自由曲)」</p> <p>②旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。【鑑賞】 「フーガ ト短調」</p> <p>③歌詞と旋律が生み出す雰囲気を感じながら歌おう。【斉唱】 「荒城の月」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニゾン部分の表現の仕方を統一することで、一体感が感じられることを意識する。 ・フレーズを意識し、曲の盛り上がりを含めた構成を考える。 ・声の重なり合う美しさを感じ取り、合唱する喜びを味わう。 ・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら聴く。 ・次々と現れる主題に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・主題提示部・展開部・終結部という形式で、それぞれの主題の現れ方の特徴を感じ取る。 ・短調の旋律が生み出す独特な雰囲気を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・フレーズを意識し、曲の盛り上がりを含めた構成を考える。 ・重厚な歌詞による雰囲気を感じ取りながら、歌唱する。
3 学 期	<p>①オペラに親しみ、その音楽を味わおう。【鑑賞】「アイダ」</p> <p>②曲の構成を考えながら、表情豊かに合唱しよう。【合唱】 「(3年生感謝祭合唱曲)」 「(送別の歌)」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・音楽、文学、演劇、舞踊、美術などが一体となったオペラのよさや美しさを味わう。 ・混声合唱の響きを意識し、各パートの役割を生かした表現を工夫する。 ・歌詞に込められた気持ちを意識し、曲調にふさわしい表現を工夫する。 ・リズムについて理解するとともにパートの役割を理解し、アンサンブルの楽しさを感じ取る。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	美しい音色・正しい音程・豊かな表情で表現力豊かに表現活動をしている。	・実技試験
思考・判断・表現	音楽理論や音楽の歴史的・文化的背景、作曲者の思いや工夫されている点などを正しく理解している。 音楽の諸要素を感じ取り、楽曲の特徴に気付いてまとめられる。	・定期試験
主体的に学習に取り組む態度	時間を守り、忘れ物をせず、音楽活動に意欲的に取り組んでいる。 前向きに演奏したり、鑑賞したりしている。 音楽理論や作曲者の思い、工夫されている点を理解した上で表現を工夫している。	・実技試験 ・定期試験 ・学習プリント ・授業の様子

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 音楽科の学習について
「音」に関心を持ちましょう。美しい歌声・素敵なハーモニー・迫力のある楽器の音色など積極的に探して、感じて、表現しましょう。
2. 授業のきまり
 - ① 2分前着席をしましょう。
 - ② 持ち物を確認しましょう。授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。
 - ③ 人が発表している時や話しているときは、きちんと聞きましょう。
3. 授業で使う道具
・2, 3年上下の教科書 ・器楽の教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・ジョイフルソング(新学社)
4. 授業中の少人数学習
合唱パートごとのグループ、班ごと・・・など内容により形態を変え、グループで話し合ったり、教え合ったりという学習を行います。
5. 家庭学習
基本的にありません。長期休み(夏休み・冬休み・春休み)に、課題を出すことがあります。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	音楽	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

<p>■曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。</p> <p>■曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>■主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p>①情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。【合唱】 「花」</p> <p>②曲の特徴を聴き取ろう。【鑑賞】 「(自由曲候補曲)」</p> <p>③思いを込めて明るい声で合唱しよう。【合唱】 「(合唱コンクール自由曲)」</p>	<p>・歌詞の内容と旋律の強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p> <p>・日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌う。</p> <p>・曲想、構成、音色などの音楽的特徴を聴き取る。</p> <p>・音楽的特徴を簡潔な文章で表現する。</p> <p>・パートリーダーや音とりを中心とした、協力的な練習の流れを確認する。</p> <p>・自分の担当パートの旋律を歌えるようにする。</p>
2 学 期	<p>①思いを込めて明るい声で合唱しよう。【合唱】 「(合唱コンクール自由曲)」</p> <p>②作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。【鑑賞】 「ブルタバ(モルダウ)」</p> <p>③曲想を生かして表情豊かに歌おう。【斉唱】 「帰れソレントへ」</p>	<p>・ユニゾン部分の表現の仕方を統一することで、一体感が感じられることを意識する。</p> <p>・フレーズを意識し、曲の盛り上がりを含めた構成を考える。</p> <p>・声の重なり合う美しさを感じ取り、合唱する喜びを味わう。</p> <p>・曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>・作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取って聴く。</p> <p>・短調と長調の違いを感じ取り、速度や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p> <p>・三大テノールによる、思いをこめた歌唱の表現力の豊かさを鑑賞する。</p>
3 学 期	<p>①楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。【鑑賞】 「ボレロ」</p> <p>②曲の構成を考えながら、表情豊かに合唱しよう。【合唱】 「(3年生を送る会合唱曲)」 「(卒業の歌)」</p>	<p>・曲全体を通して繰り返されるリズムと2つの旋律に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>・音色や強弱の変化に注目して聴く。</p> <p>・混声合唱の響きを意識し、各パートの役割を生かした表現を工夫する。</p> <p>・歌詞に込められた気持ちを意識し、曲調にふさわしい表現を工夫する。</p>

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	美しい音色・正しい音程・豊かな表情で表現力豊かに表現活動をしている。	・実技試験
思考・判断・表現	音楽理論や音楽の歴史的・文化的背景、作曲者の思いや工夫されている点などを正しく理解している。 音楽の諸要素を感じ取り、楽曲の特徴に気付いてまとめられる。	・定期試験
主体的に学習に取り組む態度	時間を守り、忘れ物をせず、音楽活動に意欲的に取り組んでいる。 前向きに演奏したり、鑑賞したりしている。 音楽理論や作曲者の思い、工夫されている点を理解した上で表現を工夫している。	・実技試験 ・定期試験 ・学習プリント ・授業の様子

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 音楽科の学習について
「音」に関心を持ちましょう。美しい歌声・素敵なハーモニー・迫力のある楽器の音色など積極的に探して、感じて、表現しましょう。
2. 授業のきまり
 - ① 2分前着席をしましょう。
 - ② 持ち物を確認しましょう。授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。
 - ③ 人が発表している時や話しているときは、きちんと聞きましょう。
3. 授業で使う道具
・2, 3年上下の教科書 ・器楽の教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・ジョイフルソング(新学社)
4. 授業中の少人数学習
合唱パートごとのグループ、班ごと ……など内容により形態を変え、グループで話し合ったり、教え合ったりという学習を行います。
5. 家庭学習
基本的にありません。長期休み(夏休み・冬休み)に、課題を出すことがあります。